

障害者のパティシエ講座修了式

一流職人から学んだ技披露

障害のある人を対 障害者の就労を支援する社会
 象に、一流パティシエ 福祉法人「プロップ・ステーション」(竹中ナミ理事長)と日
 エが洋菓子業界で活 ヨン」(竹中ナミ理事長)と日
 躍する人材を育てる 清製粉が08年から続けている。
 「神戸スイーツ・コ 受講生の多くは、作業所などで
 ンソーシウム」の今年 菓子作りに取り組んでいる知的
 度の修了式が5日、 精神障害者らで、講座でプロ
 神戸市内のホテルで の技術を学び、菓子の質の向上
 あった。受講生たちは などに役立てる。

ポイントしっかり身につけ

神戸

半年間学んだ成果を 昨年度からはメイン会場の様
 発表し、一流パティ 子をインターネット回線を使っ
 シエから伝授された て中継。複数会場で同時指導し、
 技術を披露した。来 今年度は神戸市、岡山市、愛知
 年度は、講師陣が審 県一宮市で18人が受講した。
 査して高い評価を受 矢田立郎・神戸市長ら約10
 けた受講生の菓子を、 0人が出席した修了式で、竹中
 神戸と東京で販売し 理事長は「受講生の皆さんは堂
 ている。

【大金紗知子】

さい」とあいさつ。来年度は東



エプロン姿で修了証書を受け取った受講生ら
 神戸市中央区で

日本大震災被災地の仙台市でも
 講座を開くことを明らかにし
 た。

開講時から講師を務める「モ
 ロゾフ」テクニカルディレクタ
 ーの八木淳司さん(60)が、受講
 生に修了証書を手渡した。

受講生たちは、自分が作った
 洋菓子やパンを紹介した。いず
 れも出席者らが驚くほどの出来
 栄えて、最優秀賞にしろすロー
 ルなどを作った藤株和正さん
 (28)岡山県倉敷市が選ばれ
 た。藤株さんは「何度も失敗し
 たのでうれしかった」と笑顔を
 見せた。

八木さんは「受講生は皆、伝
 えたかったポイントがしっかり
 身につけている。努力して身に
 つけた技術で、人を喜ばすこと
 が生きがいになるでしょう」と
 話した。